

目標達成計画

事業所名 グループホーム ひかりの里
作成日: 令和 6年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	60 64	コロナ禍で外部との交流を自粛してきていたが、周りの様子を見ながら、コロナ感染予防に努め、以前の様に季節行事・イベント・ボランティアの受入れ…等にて、ご家族、地域との交流を図り、楽しみあるより良い日々を過ごすことが出来るようになりたい。	コロナ感染予防に努めながら、地域の方々、ご家族…等の交流が図れるような機会、場面を作る。	コロナ禍に入居された方が多く、ご家族様との交流を密に図り、信頼関係の構築に努める。 コロナ感染予防に努めながら、地域行事、季節行事、イベントへの参加、又小学生・中学生・ボランティアの受入れ交流を図り、利用者様とのふれあいを大切にしたい。 コロナ感染予防に努めながら、ホーム内での行事、イベントにご家族が参加して頂き利用者と一緒に過ごしていただけるよう、少しずつ試みたい。	12ヶ月
2	57 66	毎日忙しい中、業務をこなすことに一生懸命で終えている日々、利用者一人ひとりとゆっくり過ごす時間が少ない。	業務改善、介護技術、スキル、モチベーションのアップにて効率化を図り、利用者に関わる時間を作り出す。	業務改善として、早番、遅番、夜勤、明け…等の役割を明確にして、ムダ・ムラ・ムリをなくした動きとする。 スタッフ一人ひとりが、業務の効率化を図る為、時間配分を考えた動きとしてムダをなくし、利用者との関われる時間作りとする。 毎月のカンファレンスでの勉強会、リモートでの研修…等にてスタッフ一人ひとりの知識、技術一職員間での情報共有にてモチベーション、スキルアップに努め効率よい動きにて利用者との関わる時間を作る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

1 自己評価

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390100083
法人名	ひかりの里 有限会社
事業所名	グループホーム ひかりの里 (1階ユニット藤・2階ユニット桃)
所在地	岡山県岡山市南区中畦187-8
自己評価作成日	令和6年12月1日
評価結果市町村受理日	令和 6年 12月 13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	岡山市事業者指導課(運営推進会議内にて評価)
所在地	岡山県岡山市北区大供三丁目1番18号
訪問調査日	令和6年12月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひかりの里は、岡山市南区郊外に立地し、田園の中、四季を感じられる自然にも恵まれています。なかとう整形外科をバックに、デイサービス、有料老人ホームと併設し、全て渡り廊下で繋がっているため、他の部署との交流もあり、何より医療との連携にて早急な対応が図れ、ご家族からも信頼され、利用者様にも安心して過ごして頂いています。利用者様が住み慣れた地域で、家庭的な雰囲気の中、その人らしく暮らして頂けるように地域の方々、ご家族とのつながりを大切に一人一人にしっかりと寄り添いホーム内で出来ることを最大限に工夫して、季節行事、イベント、レクリエーション、アクティビティ等を行い、毎日元気で明るく楽しく過ごして頂けるよう、ひかりの里の理念でもあります『誠実・希望・愛・笑顔』をモットーに、また「あなたの笑顔を守ります」の思いをスタッフ1人1人の心にきざみ、日々頑張っているグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

併設のなかとう整形外科と連携を図り、緊急時や入退院時にも適切に対応できるよう情報交換や相談ができる体制を構築している。利用者の日々の様子を、発語をひろったり、本人のしぐさから汲み取ることに、細やかに記録に残している。また、家族にも毎月写真ののった新聞や、手書きの手紙をおくることにより、関係性が途切れないように積極的に働きかけている。家庭的な雰囲気が感じられるように共用部に利用者の作品や季節の花を飾ったり、また、利用者本人の生活の継続性を意識して、可能な範囲で入居時にそれまで本人が使用されていた物を持ち込むなど、過ごしやすい空間づくりの創造を工夫していた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) コロナ禍自粛があった	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) コロナ禍自粛	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) 外出が出来ない(コロナ)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に目に触れる場所に事業所の理念を掲示し、日々のケアの中で意識をもって、サービスの提供に努め取り組み実践している。 又オリエンテーションにおいて説明とアンケートの実施。カンファレンス等にての話し合い実践に努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の規制の緩和、解消した際には、感染予防に努めながら、以前のような外部との交流を強化して行きたい。奥除神社へ初詣・春秋の祭りの参拝や、小学校の運動会・発表会の見学、農協のフェスティバルなどに参加している。事業所として地域の方々、多種多様の方、定期的なギター演奏や日本舞踊のボランティアとの交流も大切にしている。小学生・中学生の訪問、来訪による交流も定着してきている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に地域の方、民生員、行政担当者多種多様な方他 GH 管理者、他部署管理者、利用者様家族の参加をして頂き、活発な意見、要望等意見交換の場となっている。議事録を玄関に置き、いつでも、だれでも閲覧できるように開示しているが、運営推進会議もコロナ禍にあって、3密を避け電話での意見を聞く会議は6回中2回となった。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には毎回、行政担当者の参加あり(コロナ禍のため書面、電話等での会議)。事業所の状況を報告し理解把握して頂き、意見やアドバイスを頂きながら、サービスの質の向上につながるように、常に連絡を取り施設運営に努めている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや運営推進会議等にて、マニュアル作成ファイルを解読し勉強会を行い、意識の共有を図り「身体拘束 0」の維持継続に努めたい。施錠については危険性も高いことから、ご家族への説明を行い理解を頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	指針を作成し、年2回の研修を行い、長期間にわたってスピーチロックについて全員に周知し意識づけをしている。(当日参加できない人は資料配布)
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンス等でマニュアル作成ファイルを解読し、勉強会を行い周知徹底と職員の理解、認識を深めている。日頃より具体的に事例を上げ声掛けや言葉づかいについても意識改革に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	指針を作成し、年2回の研修を行い、全員参加している。(当日参加できない人は資料配布) 指針も作成済である。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内で資料を基に勉強会の機会を持ち、知識・認識が深められるように努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前のご家族の見学はコロナ禍でできなかったが、事前に詳しいホームの説明をさせて頂き、疑問や不安な点をお聞きしている。重要事項説明書の丁寧な説明も合わせてさせて頂いている。お互い納得した上で、サービス提供の開始ができるように努めている。その都度、問題点が生じた場合には納得して頂けるまでの説明に努め同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の申し送り、カンファレンス、連絡ノートの活用により、日々の中で意見や提案がいつでも言える柔軟な体制や関係が図れる環境に努めている。内容によっては全体会議で検討し、対応している。		④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関を含めた施設全体での会議を2ヶ月に1回行っており、情報共有、問題の解決を図っている。 家族に向けて、毎月写真入りの新聞を送り、入居者の様子が見て分かって頂けるよう工夫している。(写真の掲載は見学時に意向確認している)年1回は家族向けにアンケートを実施している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見箱はあるが活用できていない。契約書には内外部への相談窓口を記載し、年に一回は必ず入居者・家族アンケートを実施し集計結果を玄関に置いて開示している。運営推進会議、面会時等に、意見が頂ける環境に心がけている。日常的に話しやすい雰囲気づくりに努めている。面会時にはしっかりとコミュニケーションを図り日々ふれあいの中で思いをくみ取るように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者と管理者は常に報告連絡相談は密に図っている。管理者は職員の個々の意見や提案を聞き、職場環境の把握に努めている。 職員は、利用者担当を決め責任感ややりがいを持てるような工夫に努めている。		④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生産性向上に取り組む中で、休憩時間等の確保に努め、職員同士お互いが協力しあう体制が構築出来ている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内外の研修のお知らせを掲示し、一人でも多くの職員が参加できるよう取り組んでいる。 カンファレンス時、年間計画に応じて資料をもとに勉強会と介護技術取得を図るため施設内研修の強化に努めている。		④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍から研修会場に足を運ぶことが少なくなり、その反面WEB研修が増えたことにより、以前よりも参加しやすくなっている。研修受講の回数も増えている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ研修に参加することで同業者との情報収集に努め、情報交換、意見交換ができるように努めている。仕事に対する高いモチベーションを持ち業務に対する達成感や、その時知り得た情報は、現場に反映しサービスの質の向上に繋がるよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共に暮らす意識を持ち、ゆつくり本人の能力に応じて一緒にお手伝いして頂いている。日常生活の中で、教えあったり励ましあい助け合いができる、家庭的な雰囲気大切にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ⑥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での周りの状況を見ながら感染予防に努めながらイベント行事への参加を通して、他部署の方とふれあう機会を作り、交流に努めている。 コロナ禍で直接会えなかった為、窓越し、ベランダ越し、玄関ホールにて会って頂き、関係が継続されるよう支援している。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	バックグラウンドを踏まえ、普段の会話の中から思いやご本人の言葉を大切に、又つぶやき・表情・仕草等でも感じ取り職員間で共有しその人らしいケアに繋げている。それでも困難な場合にはご家族の協力を頂いている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	カンファレンス等でケアマネを中心に利用者担当が、ご本人・ご家族の意向確認の上、ニーズの把握に努めながらケアプランを作成している。必要に応じて定期的の評価、見直しをしている。また関係者にも連絡、相談をして実践に反映できるように努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	生活記録に日々の様子やケアの内容、状態変化などを記録。定期的に評価を行っている。細かな気づきや状態変化も職員間での共有を図り、必要に応じてカンファレンス、申し送り・・・等にて検討、見直しに活かしている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々介護の中で、利用者の発語や仕草など注意深く聞き取れるよう、常にメモなどを取りながら他の職員とも情報を共有している。また利用者毎に担当者を決め、CMや管理者でチームを組み合わせ合う等しながら実践に繋げている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の思いや意向に添った援助ができるよう、ご家族への報告連絡で理解と協力が得られるよう努めている。また医療機関や専門職他の部署のアドバイスも受けながら連携を図りその時のニーズに合わせた対応に努めている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍で一時中止となっていたが以前の様に、地域行事やイベントへの参加、小中学生の受け入れでの交流に努めている。また学生やボランティアによる太鼓・歌・踊りを一緒にすることで楽しみとしているが、利用者作品、写真掲示にてお互いに楽しめる環境に努めている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時ご家族の要望の確認をしている。病院と併設していることで、利用者、ご家族様と信頼関係が築き安心して頂いている。専門診療が必要な時は専門医への紹介と情報提供に努め、スムーズな診療体制が取れている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療と介護の情報提供書の作成をし提示を行っている。医療関係者と情報交換を行う中で連携を密に行い、早期退院となるように努めている。他施設への転院の場合もソーシャルワーカーとの情報交換や相談に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	隣接のなかとう整形外科と連携を密にし、365日24時間体制で利用者の入退院時の情報交換を行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時に重度化した場合における対応の指針を説明し理解して頂いている。常に状態の報告に努め、更に重度化した場合、主治医と連携を図りながらご家族様、職員全員でその都度に応じて話し合いを重ね方針を決めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居説明の際より、当施設における重度化や終末期の対応の指針を説明している。また重度化した場合、医師、職員、家族での話し合いを頻回に持ち、相互理解を深め方針を決めている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症や緊急時のマニュアルを作成し、施設内研修で事故対応(気道確保、体位等)に関する事は必ず指導をしている。急変や事故発生時に対応できる体制はある。定期的な応急手当での訓練は行っているが感染や防災のリモートでの講習会や勉強会を行い、特に感染症には力を入れ定期的に実施している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災や地震、水害等のマニュアルは備えている。定期的(年2回)に災害時(日中及び夜間想定)の訓練も、入居者、スタッフ総出で行い、避難経路や自動通報装置の使い方などの確認を行なっている。運営推進会議などで地域の方、ご家族の方の電話での参加を呼びかけ、協力もお願いしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内でのマニュアルを作成し、訓練を年2回行っている。コロナ禍になり地域との交流が少なくなり、現在地域の方の参加は十分出来ていない。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心を傷つけないように、プライバシーに配慮した援助に努めている。その人その人に応じた関わり方や言葉づかい、態度に留意しながら対応している。個人情報管理は慎重に行うよう職員の周知徹底に努めている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの尊重は全職員が意識して取組んでいるが、トイレ介助の際には急な立ち上がりによる転倒防止のため、やむを得ずトイレのドアを少し開けていることがある。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活すべての場面において、ご本人の思いを尊重し自分らしく生活できるように工夫した声掛け、援助に努めている。一日の日課はあるが、他の問題によって時間配分ができず、介護者側の都合になってしまう事もあるが、可能な限り利用者の思いに添えるよう心がけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設管理栄養士の元での食事提供ではあるが、季節行事・イベントの時は特別メニューで楽しみのある食事となっている。食べた後の片づけ等は一緒にやってもらえよう努めている。おやつ作りは、月1〜2回利用者と一緒に作り、食べて楽しんで頂いている。管理栄養士・栄養士が利用者の意見を聞いたり、利用者の現状を見ながら更に楽しめるよう工夫している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手作りおやつの日には利用者、職員が一緒になり、ケーキのトッピングや昔ながらのおやつ(蒸し芋等)や和菓子、たこ焼きなどの軽食を和気あいあいとした雰囲気の中で作っている。利用者の精神的活性化を図っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分チェック表への記入で把握に努めている。管理栄養士にて栄養ケアに係る技術的助言及び指導を受け食事形態の工夫、おいしい飲み物等、必要に応じて代替えでの対応にも努めている。個々の嗜好、制限もあるが健康管理の範囲内であれば、本人の意向を尊重した援助に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、個々にあった口腔ケアを行い、様子を見ながら出来ない部分のみ援助し清潔保持に努めている。口腔内のトラブルがある時は、ご家族に報告連絡相談の上、随時改善できるよう支援に努めている。定期的に義歯洗浄消毒を行っている。月に一度、訪問歯科からの口腔ケアについて指導を受けている。「口腔衛生管理体制」にて助言や指導も受けている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表にてパターンを知り、その人その人に合った援助に努めている。何気ない行動や仕草等に気を付け、トイレでの排泄に向けて援助の工夫に取り組んでいる。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は排泄表を活用し、個々の利用者の排泄パターンは把握できている。夜間帯については、安眠を優先するか、排泄を優先するか難しいときもあるが、ケースバイケースで出来ている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に応じて毎日でも入れるようにしている。希望されない時には、椅子を見ながら又タイミングを図って声掛けをし、援助の工夫に努めている。一般浴が困難になった場合は、3人対応にてシャワー浴が出来るように努めている。又、寝たきりになった場合も、渡り廊下から有料老人ホームの特浴を使用することも可能なため、2人対応で応じるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活習慣を把握して体調や状況に応じて、自由に休息できるように支援しているが、夜の安眠の妨げになるようであれば、様子見ながらリビングで過ごして頂いている。夜間眠れない方は居室で、話を聞いたり、お茶を飲んでもらい、寄り添い安眠できるように工夫している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師、看護師の指示のもと、報告・連絡・相談を密に取り、個々の把握に努めている。職員は各自薬の副作用や用法、容量をファイルで確認し、理解に努めている。薬の変更や追加があった場合は職員間で共有し、状態の様子観察に努め、医師、看護師へ報告し記録に残している。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人が薬を服薬するまで職員が管理することで、誤薬・落薬・飲み忘れは無い。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活歴を踏まえて、趣味・嗜好・特技等を考慮しながら日常生活場面において、その方の能力に応じて役割を分担して行ってもらっている。又、気分転換となるような作業、レク、リハ等々のプログラムの提供に努めている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望に応じて散歩、外気浴、他部署等の交流にて気分転換を行ってもらっている。又ご家族の協力を得ながら、感染防止に努め、時に外出等もして頂いている。大がかりな施設行事での参加、地域の方との触れ合い等はコロナ終息での再開としたい。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの方が自己管理ができないため基本的にはホームで管理している。本人希望あれば能力に応じて、ご家族了解のもと、少しのお金は持っている。欲しいものがあるときは立替での対応としている。本人の要求には応じている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも使用できるようにしている。ご家族の了解のもと要望者には固定電話のある所まで付き添い、取次援助としている。お手紙、はがき等出したい希望があれば付き添い援助に努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、リビングに利用者様が作成した作品(書道・ちぎり絵・写真等)を掲示している。利用者様が快適に過ごせるように、室温管理等の環境整備に努めている。清潔で季節感を感じられるように気を付けている。玄関、リビングに、家庭的な明るい雰囲気づくりに心がけ季節の花も飾っている。利用者が居心地よく過ごせるように十分配慮している。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節や行事に合わせて、利用者が作成した作品を掲示し、それを見ることによって利用者の記憶の掘起しにも役立っている。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活すべての場において、ご本人の思いを尊重し、自分らしく過ごしていただけるよう声かけに工夫し、援助をしている。一日の日課はあるが可能な限り利用者の思いに寄り添った援助に努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の会話の中で得た情報を記録に残し、情報の共有をしている。モニタリングの中でご本人、ご家族の意向や思いを聞き入れ、ケアプランに反映した支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の健康管理に留意し、異常の早期発見、早期対応に努めている。また24時間体制での医療機関との連携もありご本人、ご家族も安心して過ごしている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設のなかとう整形外科まで搬下で繋がっており、医療連携体制のもと、緊急時にも早期対応が出来るようになっている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までのバックグラウンドを把握し、本人の思いを尊重した支援とし、職員制の都合を優先させることのないように努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に必要なものは、本人の使用されていた物(テレビ、椅子、布団、衣類、小物・・・等)を持参して頂くよう伝え、持ち込まれている。又、家族の希望を受け入れたり、又職員が必要に応じて提案することもある。		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に持ち込まれたものは、なるべく居室に置いているが、認知症の進行により時として危険になるような物については家族に持ち帰っていただく場合がある。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であった為、積極的には行えていないが本人の希望する買い物は代行している。ホーム周辺の散歩は継続して行っている。コロナの規制が緩和、解消した際には外出支援に努めたい。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存能力を見極め、生かし、又今までの生活や趣味が継続的にできるよう支援している。本人の思いを尊重し可能な限り行ってもらえるよう、声掛け支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人その人にしっかり寄り添い、しっかり傾聴に努め、その中で得た情報を職員で共有し、その人らしく生き生きと過ごして頂けるよう支援している。		A. 充分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の中には、ずっと働いてきて、ゆっくりのんびりしたいという方もおられるので、活動の際には利用者に確認した上で参加していただいている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であった為、積極的な交流を図ることは出来ていない。コロナ禍規制が緩和、解消されれば以前の様に地域行事への参加、イベントボランティアや小中学校の職場体験の受入れ等に努めた。			

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	だいたいの利用者様は毎日安心して、その人らしく穏やかにゆったり、のんびりと過ごされている。職員は常に「目配り」「気配り」「心配り」の三配りができるよう意識しながら関わりを持つようになっている。		A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であった為、地域の人々との交流が希薄になってしまっているが、コロナ以前のように、交流を深めていきたい。
----	----	---	---	---	--	---	--

※コロナ禍の規制が緩和、解消した際には感染予防に努めながら以前の様に外部との交流を図りたい